

令和3年3月18日

保護者の皆様

仙台市立長町南小学校
校長 齋藤 浩一

令和2年度 協働型学校評価について（お知らせ）

春暖の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対しまして、温かいご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、ご報告申し上げます。ご多用とは存じますが、ぜひお読みいただき、学校・保護者・地域の連携を更に深めるための一助としていただければと思います。

なお、今年度の協働型学校評価につきましては、学校関係者評価委員会の場において、委員の皆様から貴重なご意見、ご感想を頂戴いたしました。その場において、次年度は同じ重点目標を設定し、特に「あいさつ」に焦点を当てて取り組んでいくこととなりましたので、お知らせいたします。

今後とも本校の協働型学校評価の取組に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

令和2年度 協働型学校評価のまとめ ～「我が家の協働型学校評価の重点目標」への取組を通して～

1 本校の協働型学校評価における重点目標について

【令和2年度 協働型学校評価の重点目標】

人との関わりを大切にする子供を育てる ～コミュニケーション力・生活習慣の育成～

2 成果の検証方法及び目標の達成度について

- ・アンケート回収率： 全学年で9割を超える高い回収率でした。また、多くのご家庭でしっかりと目標設定をしていただき、取組への関心の高さがうかがえました。
- ・アンケートの結果： 「我が家の重点目標」を設定して取り組んだ結果、「十分満足できる改善」「ある程度改善」がおおよそ9割となりました。子供の肯定的な評価が高まることをねらいとしており、保護者も意識して声をかけやすく取り組みやすいことが大きな改善につながったと考えられます。

- ・職員及び評価委員からの報告： 学校及び各ご家庭において、目指すべき子供たちの姿と、そのための手立てを具体的に設定して取り組み、その変容について、振り返りました。また、その結果から、子どもたちの変容を検証できました。

3 令和2年度の実績の成果

お子さんが今できていることを見つめ、あるべき姿に向かって「我が家の協働型学校評価の重点目標」を設定し、親子でコミュニケーションを図りながら取り組んでいただきました。保護者の皆様、子供たち共に、協働型重点目標に対する意識を高めることにつながったものと思います。

学校においては、「人との関わりを大切にすること」を主眼に置いて学校生活全般について、全職員で改善のための努力を続けております。各担任は学年の発達段階や学級の実態に応じて具体的な手立てで意識的に取り組み、繰り返して指導してきました。また、地域の方々からも、子どもたちの姿に対する肯定的な評価が多数寄せられています。（※ 各ご家庭の実績や地域の方のご意見ご感想を【別紙】に抜粋して紹介しました。）

4 今後の取組

- ・ 今後も、各ご家庭での取組と成果を担当が把握することに努め、ご家庭との連携のもと、取り組んでまいります。また「協働型学校評価」の持つ意義や取組の効果等について、よりご理解をいただけるよう取り組んでいきます。
- ・ 今後も、学校での諸活動等とおして、職員の共通理解のもとに同じ方向を目指してこの取組を継続していきます。
- ・ 次年度も、学校評議員・学校関係者評価委員会での話し合い等をもとに、子どもたちの現状と課題を整理し、目標設定を行っていきます。